

歯周治療が糖尿病を改善します

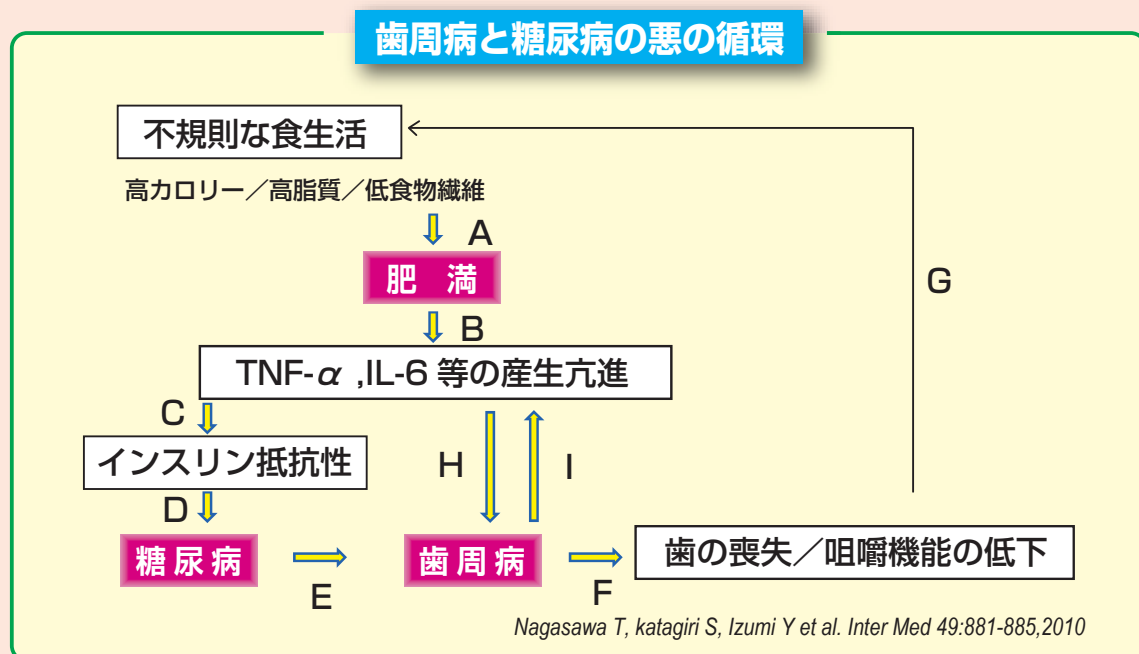
歯周病が糖尿病を増悪させると考えられています。歯周病患者では、血中の TNF- α 、IL-6、高感度 CRP のような炎症性メディエーターのレベルが有意に上昇しています。

メカニズムとしては、

- ・ 歯周病変局所で産生された炎症性メディエーターが血中に入る
- ・ 歯周病原細菌あるいはその構成成分の内毒素 (Lipopolysaccharide: LPS) が血行性に肝臓に移行し、炎症性メディエーターが産生される

の大きく2つが考えられています。これら炎症性メディエーターは、インスリン抵抗性を引き起こし（インスリンの効きを悪くして）血糖コントロールを悪化させると考えられ、また、冠状動脈疾患など糖尿病の合併症にも影響します。すなわち、**歯周病**は口腔だけでなく**口腔から離れた臓器まで影響**します。

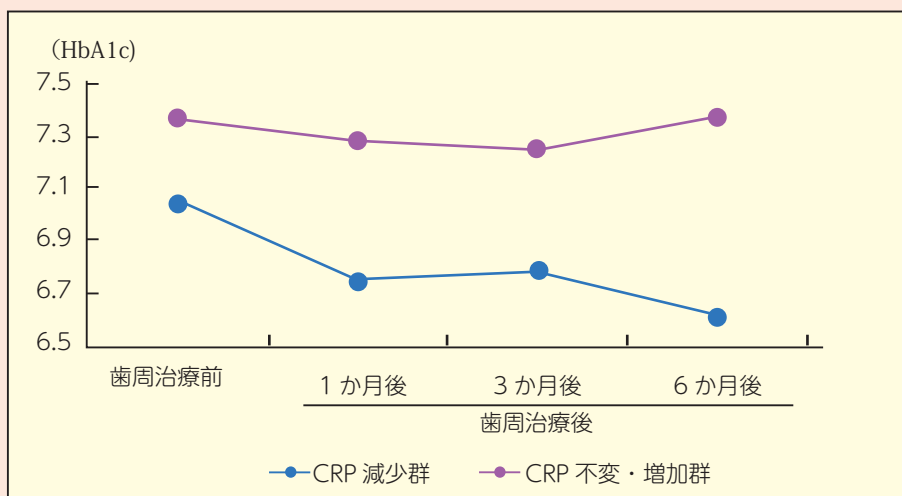
この流れを不規則な食生活を出発点に図示すると次のようになります。



- A: 不健康な食生活が肥満の原因になる
- B: 肥満者の脂肪細胞では TNF- α 、IL-6 産生が亢進する
- C: TNF- α 、IL-6 はインスリン抵抗性を引き起こす
- D: インスリン抵抗性は糖尿病を悪化させる
- E: 糖尿病は歯周病を悪化させる
- F: 歯周病は歯の喪失の主な原因になる
- G: 歯の喪失は食物繊維などの摂取の低下など不健康な食生活の原因になる
- H: TNF- α 、IL-6 は歯周組織破壊に関与する
- I: 歯周病の細菌や炎症反応は TNF- α 、IL-6 産生の亢進に関与する

歯周治療により炎症が低減し、歯周病と糖尿病の悪の循環を改善するのに役立ちます。

歯周治療によって高感度 CRP が低下すると、HbA1c が低下し、糖尿病を改善するという報告があります。(Katagiri et al. Diabetes Res Clin Pract 2009)



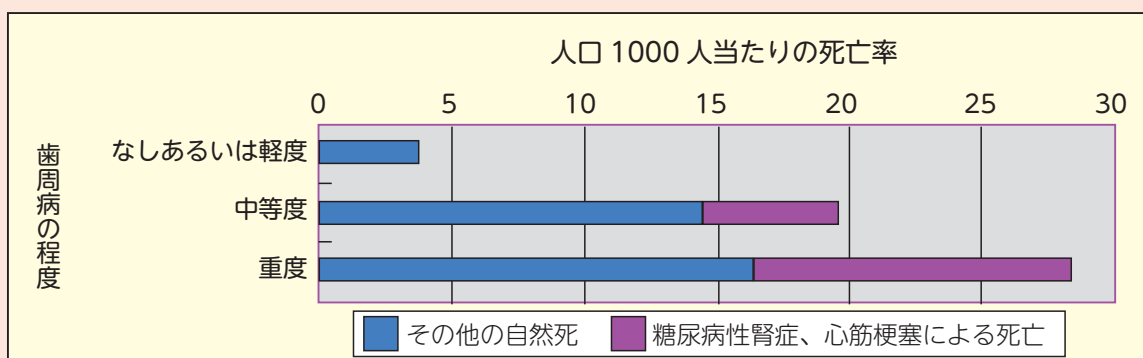
歯周病治療と糖尿病治療で改善がみられた例



歯周治療前: 体重 92Kg, HbA1c 9.6%

歯周治療後: 体重 70Kg, HbA1c 6.4%

さらに、重度歯周病の糖尿病患者は寿命が短い (Saremi et al. Diabetes Care 2005) という報告があります。歯周病治療は糖尿病患者の人生を支えます。



糖尿病に罹患している、あるいは、その可能性が高い場合はかかりつけの医師と連携をとり、患者の症状をみながら、歯周治療を進めてください。

※監修：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

歯周病学分野

和泉雄一教授、片桐さやか先生

平成 23 年 3 月発行
発行 北多摩北部医療圏医療機能連携協議会
東京都多摩小平保健所
印刷 有限会社小野印刷